

# 山大にゃんこ大作戦

—略して YND—

		代表者	佐知	本気 (共獣 B5 年)		
構成員	山本	恭広 (共獣 B5 年)	中川	夏子 (共獣 B5 年)	大山	ゆき (共獣 B5 年)
						他 26 名

## 1. 目的

山口大学内に生息する飼い主のいないねこの個体数および生態などを調査し、「大学ねこ」として不妊手術の実施などを通じて個体管理することで、最終的に飼い主のいないねこを大学から減らしていく。その過程においては、地域猫活動において実績のある自治体および他大学（立命館大学や横浜国立大学など）との連携も模索する。

こうした生態調査や近隣住民や他団体との関わりを通じて公衆衛生学的知識を深める。将来的には、不妊手術の実施を通じて獣医外科的手法を学ぶことにより、獣医学部生の実践的な学びの機会をつくる。

図1は当活動の概略図である。短期から中長期目標を立てているが、今年度プロジェクトでは短期目標の達成を目指す。また本計画を長期的に学生で受け継ぎ続け、様々な展開に挑戦し、学部かつ山口大学の伝統に転化していきたい。



図1 プロジェクトの概要図とその内容

- ① : 個体数や生態調査を通じて公衆衛生学的な知識および実践（短期目標）、不妊手術の実施を通じて外科手術の実践を実現する（中長期目標）。学生は獣医師としての実践的な知識を身につけることが可能である。生態調査でドライキャットフードを使用する予定。
- ②, ③ : 地域社会および自治体（県や市など）、他大学との関わりで学生は社会性を身に着けることができる（短期目標）。また学内ねこを身近な存在にすることで大学をより社会に開かれた大学にできる（中長期目標）。

## 2. これまでの活動と成果

### 2.1 調査結果

5月に発足し、週1回程度の学内調査を目視で行い、現時点で4エリア（図2）に成猫30頭ほどが生息していることがわかった（子ねこの頭数を含めていないため生息数はより多いと考えられる）。なおこの調査ではねこを引き寄せるため少量のエサ（1回10～20粒ほど）を使用した。エサがなくなってから調査地を離れるもしくは掃除をしてから離れるようにした。調査時間は週1～2回、早朝に行った。また調査時にそれぞれのねこの写真を撮影し、それぞれのねこの特徴などをまとめた「ねこ台帳」を作成した。

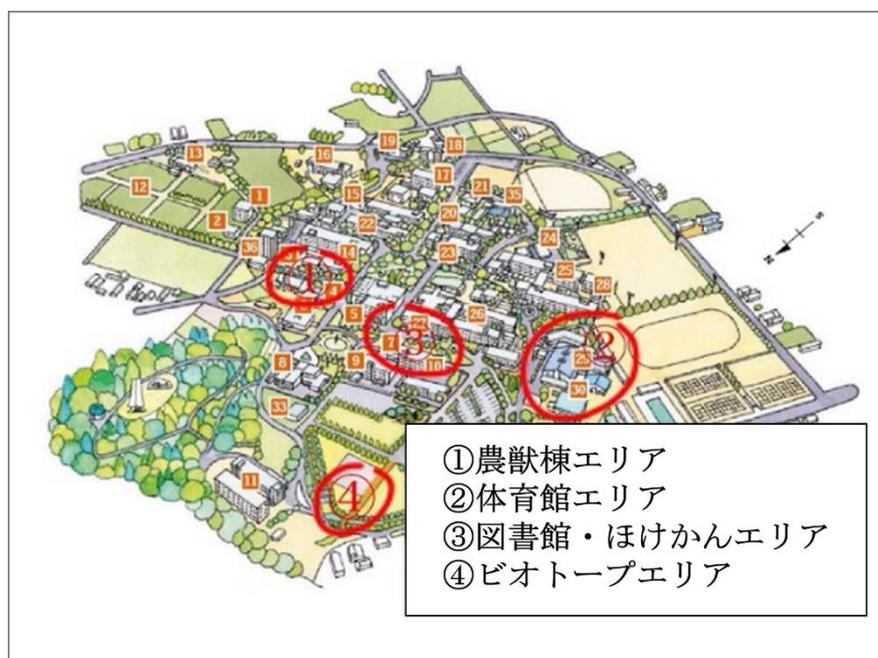


図2 ねこの生息エリア

### 2.2 学内外での活動

当初の目標である自治体および他大学との連携を達成するため、以下のような活動を行った。

#### ●5月の活動

山口県地域猫活動担当職員（山口大学獣医学科卒業生）の地域猫についての講習会を開催した。



図3 講習会の様子

#### ●8月の活動

九州大学ねこ部との合同合宿、勉強会を開催し、今後も連携することとなった。また、防府のカフェなどから活動の協賛をいただいた。さらに湯田地域猫活動を行っていた会の元会長さんとのねこ管理および捕獲時の協力体制を構築した。



図4 九州大学ねこ部さんとの合同合宿の様子



図5 九州大学ねこ部さんとの集合写真



図6 防府のカフェ「ウイラニ」様との写真

●11月の活動

「姫山祭」に出店しパンケーキを提供した。当団体のブースには幅広い層の方が来てくださり、本活動の関心の高さがうかがえた。



図7 「姫山祭」に出店した時の様子

●1月の活動

山口市の地域猫などの担当の方を訪ね、不妊手術の助成金の申請を行った。

### 3. 今後の予定

#### 3.1 継続調査

上記の調査を継続する。より正確な生息数を把握するため、定点設置カメラなどの使用や、猫の行動範囲などを把握するためにGPSの装着を予定している。

#### 3.2 ねこの管理方法に関するルールづくり

今後、学生、大学職員、地域住民と協力して学内ねこの長期管理を実現したいと考えている。現在調査時にねこの餌やりをしている方を見かけた場合には積極的に話しかけるようにしており、協力していただけるような素地を作っている最中である。このような方々の中には学内の衛生環境にそぐわない餌やり（多量に餌を与え、その後放置するなど）をやられている方もいる。そこで学内の衛生環境を保ちつつ、ねこと共存するために、餌やりおよび掃除などのルールづくりとその周知が必要と考える。当会で、そのルールをつくり、周知するためのポスターの貼り付けなどを行いたい。

通常の地域猫活動では固定したトイレの設置（固定位置に猫砂を入れたプランターを設置など）が行われているが、当活動では現状を考え、固定したトイレの設置は行わない予定である。糞を見つけた際に掃除を行うなど随時清掃を行うとともに、大学の学内清掃時に当会も参加するなどといった形で学内衛生環境の保持に協力していきたい。

#### 3.3 TNR活動に向けた捕獲（Trap：捕獲，Neuter：避妊手術，Return：元の場所に戻す）

最終目的である大学に生息するねこ全頭に不妊手術を施すために本年度内に試験的な捕獲を実施したい。具体的には6～7月に実施したい。また捕獲に関するリスク、主に人獣共通感染症に関する勉強会、講演会などを実施していく。これにより人獣共通感染症の予防意識を会員のみならず、学生、周辺住民に周知、定着していきたい。

#### 3.4 不妊手術

現時点での予定では来年度初めから本格的な捕獲および不妊手術の実施を行いたい。手術は「西京の森どうぶつ病院」で行われる予定（協力要請は済んでおり、すでに協力の了承を得ている）。

#### 3.5 資金調達

不妊手術には資金が必要である（現時点では500,000円ほど）。この資金を調達するためにクラウドファンディングおよび寄付金の募集を行う予定である。同時に当団体の広報をホームページ、SNSなどを通じて積極的に行っていく。